

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2025/8/2
所属学部・研究科・学府	融合理工学府
所属学科・専攻	創成工学専攻デザインコース
留学時の学年	院1~2年

1. 留学先について

留学先大学名		Köln International School of Design / Politecnico di Milano											
留学先所属学部等		Integrated Design Ma / Product Service System Design course											
留学期間	出発日	2024/8/26		入学日	2024/9/1		修了日	2025/6/23		帰国日	2025/7/16		
住居		大学(紹介) の寮・アパート		☒	民間アパート			その他 ()					
	住居の決め方		ドイツではWGというアプリを使って手当たり次第に申し込んだ。イタリアは日本人学生LINEグループの募集を頼った。										
	通学時間		ドイツもイタリアも公共交通機関で30分							On campus			
	通学方法		ドイツはトラムとバス、イタリアはバス 1 回乗り換え										
	居室スペース ✓を入れてください		☒	個室		() 人部屋			その他 ()				
	共有スペース ✓を入れてください			完全個室	☒	キッチン	☒	トイレ	☒	バス		リビング	
食事	自炊 70 % 学食 5 % 外食 5 % その他 20 % (スーパーでフルーツなど購入)												
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)		留学生トータルサポートプログラム										
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)		ドイツ国民健康保険								☒	加入必須	
	その他加入保険												
渡航ルート		ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
羽田成田関空 ⇄ 上海ドーハドバイ(全て飛行機経由地) ⇄ フランクフルトミラノ													

2. 留学資金の内訳

自費		貯金	円		アルバイト	円		その他	円
援助	☒	親	1,500,000 円		家族・親戚	500,000 円		その他	円
奨学金	☒	JASSO	月80000 円		その他名称 ()				円
その他		()							円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	2,800,000	円
-----	---	-----------	---

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	ユーロ	1,500	250000緊急帰国を含めて総額550000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			200,000	円
その他の保険料	ユーロ	840	140,000	円
査証・在留許可証			40,000	円
住居	ユーロ	500€ (ドイツ)、月650€ (イタリア)	1,170,000	円
光熱費			家賃に含まれる	円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)	ユーロ	月10€	20,000	円
食費	ユーロ	月300€	600,000	円
通学に要する交通費	ユーロ	月20€ (イタリア)	20,000	円
教科書、教材費	ユーロ	270€ (TH Köln semester fee)	45,000	円
その他大学に支払った経費				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	全額銀行口座から支払った
住居にかかった費用	全額銀行口座から支払った
その他	

3-3. お金の管理方法

渡航時	✓	現金			5,000 円		その他 () 円		
留学中		海外送金		キャッシング	✓	その他 (クレジットカード)			
現地での 口座開設		開設した	用意した書類や 気を付けること等 ()				✓	開設しなかった	

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換			
1 The Future is Nigh	正規	6	○	有		無
2 Public Sector Service Design	正規	6	○	有		無
3 World Building in Movies	正規	4	○	有		無
4 Internationals Mentoring	正規	4	○	有		無
5 KISDessentials	正規	2		有	○	無
6 Product Service System Design Studio	正規	12	○	有		無
7 Design Seminar	正規	6	○	有		無
8				有		無
9				有		無
10				有		無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

KISDもPOLIMIも、ガイダンス資料に従ってオンラインサービス上で登録した。KISDの授業は早い者勝ちで、遅れて登録すると希望する授業を履修できない可能性がある。POLIMIはセミナーがPSSDの場合2つの授業から一つを希望し、抽選形式で配属された。

4-3. 授業内容, 方法に関して

KISDとPOLIMI両方に公的機関と連携する実践形式のプロジェクトがあり、リサーチを丁寧に行う授業が多かった印象を受けた。ただ、授業の雰囲気はコースを受け持つ教授次第で、和気藹々とした雰囲気のものもあればストイックなものもあった。

4-4. 語学力について

両校ともに英語で授業が行われ、ドイツはネイティブレベルの人が多かった一方で、イタリアは教授の英語の訛りが強く、最後まで聞き取るのに苦労した。また、学外に出てもかなり英語が通じるケルンとは異なり、ミラノは警察署など移民の人々が頻繁に行く場所であっても英語がほとんど通じないことが多かった。特に地元の人と話す際には最低限の現地語を話せた方が良かったと思う。

4-5. 図書館など学内施設について

KISDはワークショップが充実しており、千葉大学にはない機材も多く揃っていた。また、学生が運営するカフェがあり、昼休みや放課後には憩いの場となっていた。ただし図書館はデザインキャンパスの外にあり、小さい印象を受けた。POLIMIは各キャンパスに図書館があるものの入館の際にはウェルカムウィークで配られる学生証が必要であるため、遅れて到着する際には注意が必要である。また、レオナルドキャンパスの自習スペースは常に混んでいるため、私自身はエアコンの効きが強く快適なボビザキャンパスの空き教室を作業スペースとして好んで使っていた。

4-5. 交換留学期間中の千葉大学での学修について

特になし

5. 生活面

5-1. 住居について

ケルン

ケルンは家さがしがかなり困難で、WGというサイトで物件を探したが連絡が返ってこないのは当たり前で、とにかく物件のスペックを気にせず50件以上メッセージを送った。それでも実際に家が決まるのはドイツに到着してから一カ月後で、それまではドミトリーを転々としながら生活していた。入居先は日本人に好意的なトルコ人オーナーが運営する新築の物件で、綺麗ではあったが不足しているものも多く都度買い足す必要があった。また、清掃当番などの制度を一から作る必要があり、家事負担が偏ったりすることも多かった。

ミラノ

渡航してすぐ授業期間が始まるスケジュールで、拠点を素早く見つける必要があったのでPOLIMI日本人留學生のコミュニティを頼って日本人がイタリア人大家に代わって管理するシェアハウスに入居した。共用部が質素でプライベートを尊重する雰囲気があったが、ルールがきちりしておりトラブルがあれば日本語で相談することができたので安心して過ごすことができた。

5-2. 食生活について

日本の物価に慣れていると全てが高く感じてしまい、普通のスーパーより安価なディスカウントストアをメインで使用し、昼食もそこで買ったフルーツやサンドイッチで済ませることが多かった。学食も個人的には値段の割に味が好みではなかったため自分はあまり使っていない。外食に関してはドイツではあまり手頃でおいしいレストランを見つけられず、キオスクでビールだけ買うようなことが多かったが、イタリアはアペリティーボをはじめとした手頃で満腹になれる食文化があったので、安いレストランやバーなどに友人とよく出向いていた。

5-3. インターネット環境、携帯電話について

ケルンではREWEのSIM、ミラノではiliadのesimを使っていた。ミラノでは10ユーロの価格帯でも20gbも使うことができ、ケルンより割安感があった。

5-4. 服装について

ケルンの冬は冷えると聞いて脚用のヒートテックなども含めて日本から防寒具を多めに持ち込んだが、あまり千葉の冬と大差ない印象を受けた。防寒具は性能が高くておしゃれなものを地元の古着屋で買えるので日本から持ち込む必要はなかったかもしれない。ミラノの夏は日本と気候区分が変わらないため、日本の夏服だけで十分凌げた。

5-5. 健康管理について

ケルンでクリスマス～年末年始のシーズンにスーパーマーケットが閉まりがちなのを失念しており、十分な食事を取れなかったためかインフルエンザに感染してしまった。自宅療養でなんとかしたが、食習慣についてはもっと気をつけるべきだったと思う。また、ミラノの夏はエアコンがなく熱帯夜も多かったため、熱中症リスクについては日本より注意が必要。

5-6. 保険、危機管理サービスの利用について

特になし

5-7. 課外活動について

ミラノ留学中にケルン滞在時の友人に誘われて、ベルリンで国際交流イベントの企画運営をすることになった。欧米中に散らばる留学生や出展者をオンラインでまとめ上げるとともに、自身も出展者としてAIと人間の関係性を問い直すアートを展示して、展示当日に様々な人と議論をした。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

ケルンでは他大学の日本人主催イベントに誘われ、そこで日本に留学経験のあるドイツ人学生と交流することがあった。ミラノではベルリンでの国際交流イベントを共に運営する他大学のメンバーと仲良くなり、キャンピングカーに乗せてもらうこともあった。

5-9. 日本から持参してよかったもの

出汁のもと、日本酒

結構な頻度で日本料理が恋しくなるので、現地で買うと高くつく出汁のもととは多めに持参した方が良かった。日本酒は地元のをパーティーに持って行くとウケがいい。

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

過剰な防寒具

ユニクロのウルトラライトダウンを持ち込んだが、デザインが気に入らないものを持ってくるよりは現地で自分が気に入っているものを買った方がよい。

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

基本的に明るく親切な人が多いが、初対面なのにやたら親切すぎる人には注意が必要。路上で物を売る人やねだる人が多く、声をかけられても目を合わせず無視する勇気が必要。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

シュトゥットガルト旅行 期間：2024年10月（3日間） 費用：約3万円

ヴェネツィアビエンナーレの見学 期間：2024年11月（3日間） 費用：約3万円

パリ旅行 期間：2024年11月（4日間） 費用：約4万円

ロンドン旅行 期間：2024年11月（5日間） 費用：約5万円

ミュンヘン旅行 期間：2025年1月（3日間） 費用：約3万円

ウィーン旅行 期間：2025年5月（4日間） 費用：約4万円

ベルリンでの展示 期間：2025年5月（3日間） 費用：約3万円

その他

美術館巡り、お酒、旅行、映画鑑賞

6. その他

6-1. 留学希望者へのアドバイス

留学では不測の事態がどうしても起こります。私自身もビザ手続きの遅れから緊急帰国を余儀なくされたり、家が見つからず一ヶ月ドミトリーで生活していたこともありました。そうした想定外に対処するためには、ゆとりと相談できる人を確保することが大事だと思います。それさえあれば意外となんとかなので是非不安があっても挑戦してみてください。

6-2. 留学を終えて

海外派遣留学を通して、日本にいただけでは知覚できない社会のシステムや問題に対し目を配ることができるようになり、自分の視点から未来視点での問題提起ができるようになった気がする。また、そうした問いをアイデアで終わらせず不慣れた環境でも実装する力を学ぶことができた。今後は、未来社会のあり方を構想するだけでなく、具体的な仕組みや場として社会に実装していけるデザイナーを目指したい。そのために、引き続き手と足を動かしながら、多様な人と協働しながらかたちにしていける力を磨いていくつもりだ。留学経験が、そうした姿勢の基盤となる自信を与えてくれた。